

大腸CT検査

【検査項目】

大腸CT検査

大腸CT検査とは

新型のマルチスライスCTを利用した新しい大腸の検査法です。内視鏡の代わりにチューブを10cmほど肛門から挿入し、炭酸ガスで大腸を拡張させてCT撮影を行う検査方法です。撮影した画像を3Dで解析し大腸癌や大腸ポリープ、大腸憩室などの様々な大腸疾患を発見します。また、同時に腸管外臓器もチェックすることも可能です。

メリットとデメリット

【メリット】

- 検査時間が短く（20分程度）、苦痛が少ないです
- 臨床的に問題となる6mm以上のポリープにおける十分な診断が確認されています
- 大腸内視鏡の挿入が困難な方でも検査が容易です
- 大腸穿孔や出血などの偶発症が極めて稀です
- 腸管外臓器も同時にチェックできます

【デメリット】

- 組織の採取ができないので、異常が指摘された場合は大腸内視鏡検査を受けることが必要です。
- 平らな表面型大腸病変を見つける能力は内視鏡検査に比べ劣っています。
- 最低限の医療X線被ばくがあります（当院では放射線被ばくを少なくした低線量撮影を行っています）

検査を受けることができない方

- ・過去に造影剤でアレルギーを起こしたことがある方
- ・3か月以内に腹部の手術を受けた方
- ・胃・大腸・肛門の病気（クローン病、潰瘍性大腸炎、憩室炎、痔からの出血）の既往がある方
- ・人工透析を受けている方
- ・除細動器または腹部の近くにペースメーカーを装着している方
- ・慢性呼吸不全と言われたことがある方
- ・妊娠中もしくは妊娠の可能性がある方

検査日

毎週月曜・木曜

検査の流れ

◆ご予約

検査希望日の3週間前までにお電話でお申込みください（完全予約制）。



◆予約完了後

検査食をお渡ししますので、一度ご来院ください。



◆検査前日

- ・食事は必ず検査食を摂取してください。
- ・就寝前に下剤を服用してください。



◆検査当日

朝食は絶食です。

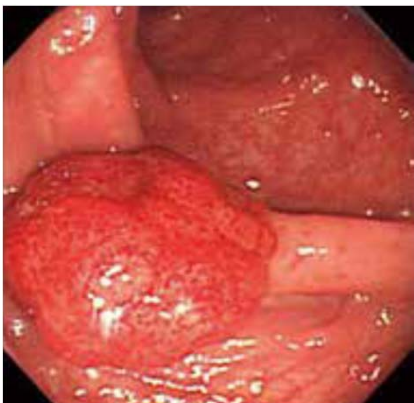
- 10:00 受付
内科診察
- 10:30 吐き気止め服用
腸管洗浄液および造影剤の服用
- 14:00 検査開始
検査所要時間は30分程度



◆検査結果

受診後2週間程度でご自宅へ郵送いたします。

大腸内視鏡像 (大腸ポリープ)



【大腸CT画像】

仮想大腸内視鏡像 (大腸ポリープ)



マルチスライスCT装置でえられた断層画像データから仮想内視鏡像を作成します。